

『盲』めじい 中村七鷺ななお

正しいゆきかたと言えば  
生意気だと言われ  
平和な生活をと思えば  
黙っていないければならない  
考えが違っていても  
正しいと思っている人に  
それでついてゆかねばならない  
そう言いながら  
盲は死んでいった  
私は今その言葉を  
想い起こし  
眼底をかすめる  
花の翳を感じながら  
窓邊に佇んでいる

## 『落葉』

中村七鷺ななお

私も分からない目に見えない強い力に  
吸い込まれるように私はころぶ  
昨日崖から落ち  
今日は石につまづきころぶ  
ころぶままにころぶより  
他に方法がないのだ  
ころんでころんで行き着いた所に  
何かを見いだすことだろう  
しかしそこにはこの強い目に見えない力が  
待っているかもしれない  
私は傷つきころぶ  
何と悲しい音をたてて  
孤独に耐えられなく後ろを向くと  
深い闇があるばかり  
前を向いてもやはり闇だけだ  
だがいつかはこの闇を退ける  
光のあることを信じて  
今日もころぶのだ